

箱根組ニュース

第306号 2018年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

高畑山山頂から眺める富士山に感動。手前で見た扇山、百倉山の緑が美しかった。

5月20日(日)京王線新宿駅発6時57分の特急高尾山口行きに乗車。高尾着7時40分。7時47分発のJR中央本線河口湖行きに乗り換え、上野原に8時8分着。降り立ったのは川名夫妻、神山、宗像夫人、及川、奥村、星野親子、和田、西川、戸丸の11名。

駅は新しくなって南口に立派な駅舎と広いバスターミナルが出来ていた。今までの狭いターミナル前にあった居酒屋の今後がちよつと心配だ。

8時35分発の無生野行きのバスに乗車。緑の中の約45分のバスの旅もまたいいものだ。

9時20分、終点の無生野着。バスの時刻表を見たら平日2本、土日3本だけだった。

真つ青な空の下、緑の中の車道を緩やかに登ってゆく。車道は秋山川を越えてゆく。左側の民家の前には何故か電子レンジがいい高さに置いてある。もしかしたら郵便受けにしているのかと後で思った。

9時30分、バスがユーターンで待機している場所が広いのでここで体操をする。雛鶴峠という立派な歌碑が横に立っていた。

9時45分、出発。左に入ると二十六夜山へと看板がある。山頂まで3時間半、山頂は南アルプスが一望できると書いてある。歩いている車道には旧鎌倉裏街道と看板がある。

9時52分、右側に穴地峠、倉竹山の標識があり、この道を入れてゆく。右側に立派な家が一軒。ここを過ぎるともう山道だ。鮮やかな色のアザミが道端に一本咲いていた。植林地の林道に木漏れ日が明るく差し込んでいる。

10時、峠道文化の森入口と書いた標柱がある。ここで小休止。暑いので一枚脱いで再出発。

10時10分、沢を右に越えるようにして沢沿いの道を進む。また渡り返すようにして5分ほどで沢の左側の道になる。

10時35分、右側80mに1号天然





記念物穴地
峠の小檜と
看板がある。
樹高25・
5m、根回
り6・4m
とある。ち
よつと行っ
てみたかつ
たが今回は
あきらめる
この後だん
だん傾斜が

きつくなってくる。

10時45分、穴地峠の看板に手書き

打ち上げ残金300円
を会計に入れました。

現在の収支	
繰越	34776 円
入金	300 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	33676 円

切手残数
82円切手
40円切手
217枚
131枚

10時52分、木々がいつの間にか新緑の雑木林になった。緑と陽ざしが美しい。目の前に峠のような窪みが見えてきた。

10時56分、これぞ峠という感じの穴地峠に到着。右に行けば倉岳山、左が目的の高畑山だ。小休止。

11時3分、高畑山に向かって尾根を登ってゆく。緑のトンネルが美しい。少し急な尾根を登ると5分ほどで北側の景色が広がる。右に大きな扇山、左側には百倉山がはつきりと見えるが緑一色だ。その左には雁ヶ腹摺山や奥多摩の山々がつながっている。

11時11分、天神山山頂。気持ちの良い尾根道を上り下りする。

11時30分頃、目の前の尾根が急になってくる。

11時45分、南に開けた山頂、981.7mの高畑山に到着。少し雲がかかっているがまだ雪を少し残した美しい富士山が見える。それほど広くない山頂にはかなり人が休んでいる。我々もさっそく場所を決めて昼食。ゆっくり休んでいたらしいの間にか山頂は我々だけ

6月17日(日)は吾妻峡の河原で天ぷらです。

らくだコース 歩行2〜3時間?

飯能駅南口からバスで茜台へ、茜台自然公園、赤根峠、(柏木山?) 経由で吾妻峡へ

※お弁当は要りません。蕎麦、うどんを作ります。

○持ち物 飲料水、非常食、雨具、スパッツ、傘、ポットにお湯、食器、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは6月15日(金)までに

集合 6月17日(日)
西武池袋駅 7:35発
急行飯能行き(前から3両目)

途中駅発
石神井公園 7:45 ひばりヶ丘 7:50
所沢 8:00 西所沢 8:04 小手指 8:06

飯能着 8:24 (バス乗換)
8:47発 クラウンパッケージ行
茜台着 9時5分

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



になっていた。
 1時5分、下山開始。鳥沢駅を目指して降りてゆく。

傾斜のきつい道を降りてゆく。
 1時20分、木々は自然林からヒノキの植林地に変わっていた。また自然林に変わりその後混合林になる。

2時30分、右に沢が現れる。5分ほどで沢を渡り沢の右側の道になる。

2時47分、左側にダムの水が見えてくる。小笹貯水池だ。10年ほど前だろうか冬の雪の残っているときダムの

斜面でレジャーシートでソリ滑りをしたことを思い出した。

2時55分、民家が見えてきて、右側に赤い鳥居の山ノ神社。扇山が民家の向こうに大きく見える。

3時10分、桂川にかかる虹吹橋を渡る。川まではかなりの高さがあり吸い込まれるようだ。

3時35分、鳥沢駅着。駅舎は新しくモダンになっていて昔の面影は全くない。さて、恒例の打ち上げだが、

西川さんがネットで見つけたという相模湖駅前の「かどや」という店に行ってみる。

駅の真ん前のその名の通り角で、入ってびっくり、結構広いお店だがほとんど山帰りの人でいっぱいだった。予約していったので8人でゆっくり座れたし、安くて結構美味しい、なかなかの店だ。山好きの人が入るのも納得だ。

大満足の一日でした。

下見山行のお誘い (9月の下見です)

7月15日(日) 奥秩父連峰の盟主**金峰山** (2599 E) に下見に行きます。(歩行約4時間)

※バスが予約制なので参加希望者は、必ずお申し込みください。

●交通 東京駅6時7分 中央特快高尾行

高尾7時5分着(乗り換え) 7時6分発甲府行き

塩山8時12分着(予約バスに乗り換え)

◎途中駅発 神田6:09 お茶の水6:12

四谷6:17 新宿6:22(12番線) 立川6:48

8時30分発 大弛峠9時55分着

●コース 大弛峠から金峰山を往復します。

●費用 東京→塩山 往復約4000円

塩山→大弛峠 バス往復3600円

(タクシー利用時は一人7~8000円かかります)

南アルプス 北岳 (3193 E)・間ノ岳 (3189.3 E)

7月28日(土) 31日(火) 3泊4日

※募集開始！一日の歩行時間を短くしました。

28日(土) 東京発→広河原山荘(泊) (テント泊可)

※新宿発9時2分 ホリデー快速ビューやまなし号

甲府 11時15分着(広河原行きバス乗換)

甲府 12時5分発 広河原13時58分着

29日(日) 歩行5時間半

広河原→北岳肩ノ小屋(泊) (テント泊可)

30日(月) 歩行4時間45分

北岳→間ノ岳→北岳山荘(泊) (テント泊可)

31日(火) 歩行4時間10分

北岳山荘→広河原→帰京

